

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業
斎藤マシン工業株式会社

天童市にある斎藤マシン工業株式会社の居鶴^{いづる}拓磨さん取材しました！
居鶴さんは工業高校を卒業した後、2011年に入社しました。
現在は汎用旋盤課で勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在の仕事内容を教えてください。



汎用旋盤という機械を使って、ステンレスとか銅、アルミニウムといったいろいろな材料を、図面の通りに加工していく仕事です。お客様から依頼いただいた図面があり、それをもとに機械で加工します。

——会社としてはどのような仕事をされているのですか？

皆さんがイメージしている製造業はライン作業で、同じ作業を繰り返していると思います。私たちの仕事は少し違い、いろいろな機械がある中で、一人が1台を動かして、一つの製品を作ります。

——個人作業なのですか？

そうですね、個人作業です。例えば、一つの製品を作るときには、この部分はこの機械で加工して、この下の部分は違う機械で加工して、さらに別の機械を使って仕上げ、というように、いろいろな機械が使われて完成します。私も、その中の一つの役割を担っています。

——どのような製品を作っているのですか？

当社のお客様は、いろいろな業界にいます。ひとつの業界に向けて作っているわけではなく、様々な業界の製品を、多品種少量で生産しています。いろいろな業界の製品を加工しているので、「これを作っています」という専門は特にはないですが、その中で一応メインになるのは、真空部品です。

——いろいろなものに使われる、汎用性の高い部品を作っているのですか？

汎用性の高い部品も作っていますし、専門的な、つまりこの部品がないとこの製品が作れないという重要な部品もあります。本当に多種多様です。



——汎用旋盤とはどのような機械でしょうか？

汎用旋盤は、形状的には丸いもの、円盤形状のものを加工できます。他にマシニングセンタという機械もあって、丸や四角、特殊な形状に加工できるものもあります。自分がメインで使う汎用旋盤は丸い形状にするのが得意です。

——汎用旋盤は数値制御ではなくて、自分の手の感覚で使うものですね？

そうですね。よく町工場を紹介する映像で映っていると思いますが、機械としては少なくなってきました。



——えー！！すごいですね！本当に職人技ですね。

職人寄りだと思います(笑)。マシニングセンタはプログラムを組んで、プログラム通りに機械が動くのですが、汎用旋盤はプログラムではなく、手の感覚で機械を動かして加工していきます。

——そういった職人技はどのように身につけてきたのですか？

入社して初めて汎用旋盤を使いましたので、0から始めました。昔から働いている70歳くらいの職人がいて、その師匠的存在の背中を見ながら学びました。

もちろん教科書やテキストはありましたが、実際は仕事をしていくなかで学んだ感じです。今から思えばですが(笑)。

——その技能を習得するまで何年くらいかかりましたか？

本当に自分でできるようになったと思えたのは、5、6年経った頃だと思います。

——仕事のやりがいは何ですか？

難しい加工が終わった瞬間の、やりがいというか達成感はすごくあります。

——円盤状に加工するのは難しいと聞きますが、どういう難しさですか？

難しさといってもいろいろな難しさがありますが、一つは温度変化で寸法が 100 分台（0.01mm 単位）で変わってしまうことです。その変化を読みながら、お客様の図面通りにするのが難しいです。他に、円盤といってもただの円盤だけではなく、いろいろな形状に加工しますので、難しい形状になればなるほど大変です。

私も難易度の高い製品を担当することがありますが、それが完成した後の達成感はすごいですね。



(2) 職場編

——就職を決めたきっかけはなんですか？

一つ目は、一緒に働く同期が多い方が自分も頑張れると思っていたことです。ちょうど自分が入ろうとした年は募集人数が3人だったので、「3人はいるな」と思いました(笑)。実際は5人だったのですが、同期が多い方が長く続けるためにいいというのが理由のひとつです。

二つ目は、ものづくりに昔から興味があったことです。ただ、製造業といっても、ライン作業はちょっと嫌だと思っていました。工場見学をしたときに、当社はライン作業ではなくて、自分で作り上げる技術職だったので、そこに惹かれて決めました。あ、あとは家が近いことです(笑)。

——就職先として県外は考えませんでしたか？

学生のときは、関東がかっこいいというちょっとした憧れもありましたが、なんだかんだで地元就職しました。働いて10年以上経ちますが、進学や就職で県外に行った友人も、地元に戻ってきて就職している人が多く、やっぱり地元がいいのだなと思いました(笑)。それを見て、自分もここに就職してよかったと思いました。

——他にも入社してよかったと思うことはありますか？

会社の雰囲気、人間関係がいいと思います。やっぱり仕事を続けるうえで、人間関係が一番大事なことだと思います。皆で協力する体制ができていますし、仲良くざっくばらんに話せる関係を築けているので、当社は人間関係がいい会社だと思います。天童の他に、中山工場がありますが、そこも人間関係が良いのでよかったと思います。

——気軽に相談できる雰囲気ですか？

会社のイベントや飲み会があって、参加人数も少なくないので、コミュニケーションがとれます。そこも、仕事を続けられる大きな要因になっていると思います。人間関係は大事ですね。



——入社して成長したと思うことはありますか？

働き始める前は、「間違えたらどうしよう、うまくいかなかったらどうしよう」という不安が多くて、一人で思い悩む性格でした。ですが当社は、放っておかれて一人で頑張れという雰囲気ではなく、「大丈夫か、手伝おうか」という協力する体制があります。10年くらい勤めてきて、協力する中でいろいろな人間関係が作れるようになりましたし、自分からも手伝うようになりました。

——誰かに御社の魅力を紹介するとしたら、ポイントはどこですか？

人間関係の良さはお勧めできると思います。2年前に入った新卒の社員がいて、その社員もたぶん人間関係の良さで頑張ってくれています。自分も人間関係の良さは日々感じています。そこはお勧めできる場所ですね(笑)。

他には、就業時間が独特で、シフト制です。普通だと例えば8時から始まって17時までのイメージだと思いますが、当社は少し違い、「S7」だと7時始業で16時が終業になります。「S6」だと、6時から15時です。遅い時間だとS10で、10時から19時です。朝、子どもを送っている人が結構利用しています。

このシフト制を使う理由として、例えば、夕方に子供のお迎えがあるときにはシフトをずらして自分の用事も済ませつつ、自分の仕事もしっかりやることができます。仕事を早く進めて次の工程に回したいときに、朝早く来て終わらせることもできます。自分の予定や仕事の状況で始業時間を変えられるのは、他社にはなかなかないと思います。

——1日ごとに申請するのですか？

1日ごとに申請しています。自分は今日、7時から来ましたが、昨日自分の課のリーダーに「明日 S7 で来ます」と申請しましたので、今日は 16 時が定時になります。そこから残業する場合もありますが、定時は 16 時です。

——有給休暇は取りやすいですか？

有給休暇は非常に取りやすい会社だと思います。1年間で5日間はとらなければならないのですが、5日に限らず、20日取っている方もいます。



(3) ある日の過ごし方編

(シフト S7 の場合)

●7:00 【業務開始】

制服に着替えて、作業場へ行き加工準備をします。図面を見て、製品の形状を頭に描きながら加工します。



●8:00 【掃除】

5 分間掃除をします。毎日行っています。



●10:10 【ミーティング】

自分が所属する課のミーティングがあります。今日 1 日の情報供給を行います。

●12:10 【お昼休憩】

2 階の休憩室で、同僚と一緒に昼食をとります。

※お昼の他に、午前と午後に各 10 分の休憩時間があります。



●12:50 【午後の業務開始】

午前からの加工の続きをします。どこからスタートかをしっかり把握した上で進めます。

●16:00 【退勤】

退勤後は、好きなコーヒーを飲んでリラックスします。

帰宅したら、ご飯を食べながら YouTube (ヒカル) を見るのが日課です。

(4) むらやまでの暮らし編

——お休みの日はどこかに行きますか？

サッカー観戦が趣味なので、モンテディオ山形を見にいきます。当社はスポンサーになっているので、チケットがもらえます。

他には、山形は美味しいものが多いので、いろいろなところに行きます。休みの日は家にいるよりも、どこかに出かけていることが多いですね。



——おすすめのお店はありますか？

山形市南三番町に、ワイルドグリルというステーキ屋さんがあって、そこは本当に美味しいです。当社に肉にうるさい方がいて(笑)、その方に教えてもらって行きましたが、めちゃくちゃ美味しかったです。

山形は美味しいものがいっぱいあるところがすごくいいと思います。

R5 年度働いてよし、暮らしてよし むらやまの企業
斎藤マシン工業株式会社



——この地域で暮らしていてよかったと思うのは、食べ物が美味しいところですか？

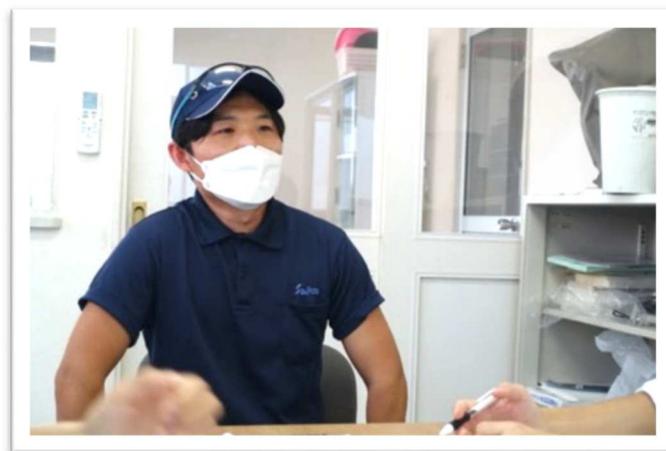
そうですね。他には、山形には山寺など、自然にあふれた良い場所がたくさんあります。有名な池とか滝とか、庄内に行けば海もあって、県内出身の自分でも魅力を感じます。

学生さんはあまり魅力を感じないかもしれません（笑）。自分も 30 歳を過ぎてから自然のいいところをわかるようになってきたんですよ、なぜか（笑）。

——冬は雪かきが大変ではないですか。

「雪かき嫌だな」と思って毎年、冬を迎えています（笑）。出勤前の車の雪かきが一番大変ですね。仙台は隣なのに、雪が降らなくていいなと思います。

(5) まとめ編



——これから就職活動をする学生にメッセージをお願いします。

自分が10年以上働いてみて、長く続けるためには人間関係が本当に大事だと思っています。就活では、入りたい職場で工場見学や職場体験があれば、本当に積極的に参加するべきだと思います。会社の雰囲気を見るためにも、そういう機会があれば参考にして、自分で会社の空気を知ってほしいと思います。

雰囲気が分からないまま、例えば有名で大きい会社だから大丈夫だろうと、会社の中を見ずに入ってしまう、「思っていたのと違う」となると大変なので、会社の中を見る機会があれば積極的に活用してほしいです。会社の雰囲気が一番大事で、自分が続けられるのかがわかると思います。

——目標やチャレンジしたいことがあれば教えてください。

入社して10年ですが、「10年経ったな」ではなく、「まだ10年なんだ」と初心を忘れないようにしたいです。後輩もできたので、当社で勤め続けられるように雰囲気づくりを大事にして、いい会社づくりに貢献することを継続していきたいと思っています。

———ありがとうございます！

居鶴さんは質問に対して真摯に答えてくださる姿が印象的でした！斎藤マシン工業の事業内容でとても難しかったところを、細かいところまで詳しく説明して下さり、大変理解しやすかったです。会社の雰囲気や人間関係の良さを何度も強調されているのが印象的でした。斎藤マシン工業が本当に雰囲気と人間関係が良好で働きやすい職場だと感じました。職人技で製品を作られている居鶴さんの貴重なお話を聞いてよかったです。



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 高嶋乙羽、金成紗弥、医学部 村岡丈太郎】

斎藤マシン工業株式会社

- ・所在地 山形県天童市石鳥居 2-2-64
 - ・設立 昭和 38 年 5 月
 - ・従業員数 57 名（男性 47 名、女性 10 名）
 - ・事業内容 真空装置部品、食品関連機械部品および電子顕微鏡などの電子応用装置部品の機械加工と組立
 - ・URL <https://www.m-saito.co.jp>
-